

交運労協 FAX ニュース NO. 30

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル3階 発行日 2014年9月18日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570 発行人 関 政治

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

【2015年度予算概算要求】

自動車局からの回答を受け要請を行う！

交運労協は、9月17日10時より、国土交通省1階共用会議室において、「2015年度予算概算要求」について自動車局から回答を受けた。交運労協からは14名が出席するとともに、政策推進議員懇談会の高木義明衆議院議員石塚秘書、田城郁参議院議員佐々木秘書にも同席いただいた。

冒頭、交運労協を代表して慶島事務局次長が挨拶し、「交通政策基本計画の中間とりまとめが8月に行われ、その中で50項目の数値指標が掲げられている。本日の要求にもある大型貨物自動車の衝突被害軽減ブレーキの装着率について2020年度90%にするとされているが、財源の裏付けがあってこそ施策は担保される。私どもの要求について真摯に検討し、来年度予算に反映して頂きたい」と述べた。自動車局を代表して挨拶した岩崎総務課長は、「自動車は国民生活を支える重要な基盤となっている。行政としても働く皆様のニーズを聞いていくことが大事であると考えている。本日の皆様と意見交換できる場を大事にしたい」と述べた。

その後、交運労協の要求項目について、各担当課からの回答を受けた後、意見交換に入り、運輸労連が①適正化指導員の増員②運転者育成のための予算措置③中小事業者の協業化促進④特装車取得への補助⑤Gマーク取得へのインセンティブ⑥安全を担保した参入規制強化⑦衝突被害軽減ブレーキの導入義務化⑧海上コンテナの陸上輸送について、私鉄総連が①バス・ハイタクの監査体制②貸切バス事業者の安全性等評価・認定制度③改造LPガスハイブリッド車への税制優遇措置④タクシー乗り場の整備について、JR総連が①ドライブレコーダーの耐久性確保②異常時の通信手段確保について、全自交労連が①防犯対策への支援措置②事故防止対策支援推進事業について、それぞれ質問および要請を行った。

なお、回答内容については別途、報告することとする。